



鳥取県東部中小企業青年中央会 会報

大空

【サブテーマ】
～魅力ある活動をする～

2020年7月発行 N.196

発行人: 吉田 雅之(第45期会長)
編集責任者: 楠 光裕(ピンチをチャンスに変える委員会)
編集委員会: ピンチをチャンスに変える委員会



鳥取県東部中小企業青年中央会

- 綱 一、われわれは自己の研鑽に努め、英知を養う。
二、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。
領 一、われわれは団結して中小企業の発展を図る。

URL <http://www.tsc21.gr.jp/>

E-mail tsc@tsc21.gr.jp

FB <https://www.facebook.com/east.chuoukai/>



会長挨拶

第46期会長 松島 祐一



皆さんこんばんは!中央会に在籍して13年目を迎えようとしています。おなじみの挨拶でスタートさせていただきます。歴代の会長から引き継がれたタスキを第45期吉田会長より引き継ぎます。令和2年度、第46期鳥取県東部中小企業青年中央会会長を務めさせていただきます松島祐一です。どうぞよろしくお願い致します。

昨年は45周年の節目の年度を迎え記念式典、メンタリストDAIGO氏をお呼びして特別講演会を開催し、多大なるご支援・ご協力をいただきまして改めて感謝、御礼を申し上げます。

第46期はコロナウィルス感染症拡大の影響を受けながらのスタートとなります。このような状況下でも我々は次代を担う経営者・経営幹部として、今だからできること、今しかできないこと、今だからすべきことを考え最善の結果を選択していかなければなりません。会社を守るために、会を守るために一人一人が強力なリーダーシップを発揮し、社員・会員で知恵を出し、数ある情報の中から有力な情報を取捨選択し知識として、自分の役割を考え行動し、相手を思いやる心を持って一つのチームとして考動することが綱領である「英知・友愛・団結」の精神につながる新しい挑戦への第一歩と考えます。今年度のテーマはその想いをもって「ONE TEAM」と致します。

また、サブテーマを～魅力ある活動をする～としました。魅力を高めるために若手経営者の精鋭である我々会員が先ずは魅力的な行動、活動をしていく。会社を信用してもらう前に自分自身が信用される人になり、そして自社にフィードバックして魅力ある社員を増やし魅力ある会社にしていく。「個」「会社」「組織」を魅力あるものとして、自分自身をどう輝かせ相手を惹きつけるのか考え、時代に挑戦し、次代である50期に向けて歩んでいきます。会員の皆さんどうぞよろしくお願い致します。

直前会長挨拶

直前会長 吉田 雅之

鳥取県東部中小企業青年中央会、第46期直前会長の吉田雅之です。昨年度は45期の活動に際し会員の皆様をはじめ、ご来賓、OBの皆様方に多大なるご協力を賜りまして誠にありがとうございます。7月に開催いたしました記念式典を皮切りに、しゃんしゃん祭り、手作り例会、忘年例会、親子ふれあい例会、オープン例会と順調に活動を重ねる中で、年明け以降、世界中を震撼させている新型コロナウイルスの影響を当会も受けました。毎晩のように有志メンバーで対策会議を開催し深夜まで議論を重ね、どうすれば青年中央会が会員の皆さんに役立つ存在になるか、無我夢中で動き考え続けた半年間でした。45年という青年中央会の歴史の中で1番の危機に直面し1番多くの決断を下した年度でありました。結果的に、湖山池フェスティバルを含む2回の例会を中止にいたしました。役員会、委員会はオンライン開催を試み、歩みを止めることなく活動を継続するという決断を下しました。私の一存での決断でしたが、皆さんが前向きに呼応してくれたことにより、青年中央会は今まで以上に大きく成長することができました。オンラインという新たな手法で活動を開催することにより、求められる会議の質。改めて必要と感ずることができた対面での人の温もり。全て会員の皆さんのお陰で得ることができた財産です。今年度は今まで得た財産をフルに活用していただき、更に進化した青年中央会を築き上げていただきたいと思います。

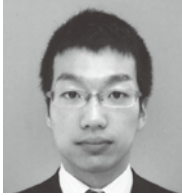


まだまだ新型コロナウイルスの影響が考えられる中でスタートした松島会長年度ですが、会員の皆さんの知恵と、松島会長が備えている明るさ、人を笑顔に変える人格を最大限に生かしていただき、46期を青年中央会史上最高の1年だったと振り返ることができる未来に向かって、直前会長という立場から後押ししていきます。今年度もよろしくお願い致します。

新委員長挨拶

我“しん友”とゆく委員会

木村 竜也 委員長



当委員会では、所属メンバーの今後の人生、当会での活動において、チームワークの礎となる、自他を知り、互いを認め、腹を割って語り合える「仲間づくり」に取り組んでいきます。

委員会名の“しん友”（しんゆう）は、当て字を変えることで、その意味も変化します。親友、信友、心友、申友、辛友など…。それぞれが考える、かけがえのない“しん友”を共につくろう！

バックカスティング委員会

高橋 央 委員長



委員長を務めさせていただきます高橋央です。

当委員会は極端な未来を想像しバックカスティング（現在の延長線上で未来を見るのではなく、未来からの視点で今どうすべきかという思考法）を柱に考えられるビジネスモデルを模索し行動します。バックカスティングを学び行動に繋げることを通し、先見性を備えた次代を担うリーダーを育成することを目指します。

共感共鳴委員会

成田 洋司 委員長



今年度、委員長を務めさせていただきます成田です。

活動テーマを「人間として～共感し、共鳴し、創造する」とし、人と人との繋がりを意識した活動をしていきます。

最終的なゴールである、「人の気持ちに寄り添う人間になること」を目指して一年間活動していきます。どうぞ宜しくお願いいたします。

MBF委員会

田村 聡子 委員長



委員長を務めさせていただきます田村聡子です。「Make Bright Future」未来がさらに明るくなるよう、自分の手で掴み取っていこうという思いで命名しました。

テーマを「九星気学を学び、自分力を高めよう」とし、神社仏閣などでも取り入れられている九星気学を用いて、これからの人生をさらに良い方向に進めて行くためのヒントを見出していきたいと考えます。一年間よろしくお願い致します。

AI♡委員会

西原 直美 委員長



今年度、委員長を務めさせていただきます西原直美です。

当委員会は「愛」に焦点を当て、活動テーマを「愛ある考動力と行動力」と致しました。個々が思いやり=愛のある行動目標を立てる事と、個の力を集結させた、委員会として「ONETEAM」となれるように、委員会メンバーの皆さんにも協力いただき、有意義な1年としたいと思います。

よろしくお願いします。

花を添える僕たちの委員会

伊藤 省吾 委員長



当委員会は一年間を通して事前期待を超えることを常に考えること。そして卒業生から学び繋がること。この二つを柱に活動をしていきます。

卒業生との座談会を通して中央会の魅力をより理解し、未来へ継承できるように。そして委員会メンバーの様々なビジネスモデルから事前期待・付加価値を学び考え六月卒業例会に花を添える。そんな委員会を目指します。

新副会長挨拶

諸寄 英久 副会長



中央会活動の最後の年に副会長を務めさせていただきます。

今までの役員経験を活かし、46期松島会長をしっかり支え、中央会の最後になる活動を悔いの残らないよう邁進致します。

また今期は、昨年のサポート実行委員長に続き、サポート実行委員副会長も兼任させていただきます。昨年度に引き続き、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

尾崎 貴絵 副会長



この度、副会長を二期連続で務めさせていただくことになりました。

昨年一年間は、初めての副会長として、委員会活動や例会を一步引いて見る、という立場を自分なりに考えながら過ごしてきました。担当委員会が活発で有意義な活動となるように支えていきたいというのはもちろん、会全体を見る目を養い、そして舵取りする会長も支えていきたいと考えています。

田中 雄之 副会長



46期、松島会長のもと副会長を務めさせていただきます田中です。1年ぶり3回目の副会長となりますが、今年度はその経験も活かしながら松島会長の補佐をしていきたいと思っております。

また担当させていただく共感共鳴委員会・成田委員長、高木副委員長と共に、会も委員会も「ONE TEAM」となることを目指したいと思っております。至らぬ点も多々ありますが、よろしく申し上げます。

西原 泰仁 副会長



本年度、副会長を務めさせていただきます、西原泰仁です。在籍8年間支えていただいた皆様への感謝の気持ちを胸に、青年中央会がさらに魅力ある会になる様努力して参ります。担当のMBF委員会は自分力を高めるため九星気学を学ぶ委員会です。田村委員長、中谷副委員長を全力でバックアップしつつ楽しい委員会になることを期待しています。一年間どうぞ宜しくお願い致します。

小谷 直大 副会長



本年度、副会長を務めます、小谷直大です。魅力ある活動をし、松島会長が掲げられたテーマである、「ONE TEAM」を目指す一年にしていきたいです。また、AI♡委員会の担当副会長として、微力ながら西原委員長と松田副委員長をサポートいたします。

コロナ禍の中、青年中央会活動も例年通りとはいえないかもしれませんが、一致団結して困難を乗り越っていききたいと思っております。

西尾 崇 副会長



この度副会長を務めさせていただきます西尾崇です。松島会長が掲げられた「ONE TEAM」のテーマの下、切磋琢磨する強いTEAMを築いていきたいと考えます。

また、担当させていただきます”花を添える僕たちの委員会”では「感動・感謝」をキーワードに伊藤委員長、岸本副委員長と共に魅力ある活動をしていきたいと思っております。

1年間宜しくお願い致します。

6月卒業例会

ピンチをチャンスに変える委員会委員長 楠 光裕

令和2年6月18日(木)にホテルニューオータニ鳥取鶴の間にて、令和元年度卒業例会を開催いたしました。今年度の卒業例会は新型コロナウイルスの影響で、初のweb配信での開催となり、担当委員会以外の委員会の皆様は、サテライトとして5つの会場に分かれて参加していただきました。油谷OB会代表幹事様にもzoomで乾杯のご発声をしていただきました。私自身、インターネットで配信をするのは初めてで、機材の事や配信方法、配信環境の事など分からない事だらけでしたが、委員会メンバーだけでなく青年中央会の全会員の皆様にご協力いただきまして、無事に卒業生4名を送り出す事が出来ました。出来れば例年通り集まって卒業生を送り出したかったという気持ちは勿論ありますが、今後の社会情勢を考えると、こういう形の例会も増えてくる可能性があります。なので今回こういう形で例会を行い、出てきた課題などを今後の青年中央会活動にプラスにしていければと思います。ご協力いただきましたOB、会員の皆様、誠にありがとうございました。そして4名の卒業生の皆様、中央会生活お疲れ様でした。御卒業おめでとうございます。



令和元年度 卒業生



茶谷 友士〈有限会社トーケン〉
石河 英直〈中嶋米穀株式会社〉
小谷 誠〈小谷昇税理士事務所〉
段塚 俊彦〈ビストロ&バー おれんち〉



編集後記

1年間「大空」制作を担当し、最初は通年同様に様々な例会・イベント等たくさんの記事を詰め込むのに苦労しました。ところが、コロナウイルスにより状況は一変、例会・イベントの中止等により掲載内容は大きく減ることとなりました。それでも悪いことばかりではなく、今回の号で「Zoom」を使った新しいスタイルの卒業例会を紹介することができたり、松島会長をはじめ新年度の副会長、委員長のあいさつがしっかり紹介できたことなど、いいこともありました。早く全員の集合写真を「大空」で見れる日を願っています。